

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年12月13日 No. 48

南京大虐殺から88年

12月13日、旧日本軍が中国の南京で約 30 万人を虐殺した「南京大虐殺」から88年を迎えました。JR 東労組は、1995 年から中国での平和研修(12・13 南京-平和のための国際交流、平頂山平和研修)を取り組み、1937 年の南京大虐殺における加害の歴史と戦争の悲惨さ、平和の大切さを学んできました。

現在、日中間の緊張関係が高まっていますが、「戦争の放棄」を掲げた日本国憲法に基づき、これまで以上に平和を希求すべき時期にきています。

JR東労組は、今後も国際連帯の強化を図るとともに、日本の加害の歴史に向き合い、戦争の悲惨さを広めていきます。

日本国憲法（第9条 戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認）

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



侵華日軍南京大虐殺草鞋峡遇难同胞纪念碑



南京大虐殺記念館

南京大虐殺（南京事件）

1937 年 12 月 13 日、中国の南京において、日本軍が中国軍兵士や市民に対して暴行・虐殺・強姦・略奪・放火を行い、約 30 万人が犠牲になりました。一方で、南京大虐殺を無かったことにしたい一部有識者や政治家は「南京大虐殺は無かった」と発言しています。

**戦争の加害者にも被害者にもならないために、
平和で安心して暮らせる社会をつくり出そう！**